

評価基準

良い…5点 やや良い…4点

普通…3点 やや不十分…2点

不十分…1点

静岡県中部看護専門学校 組織運営 自己点検・自己評価表  
(令和2年度) 評価

評価項目		評価資料	評価の視点	令和2年度計画	評価点	令和2年度評価および今後の課題	第三者評価	
大項目	小項目						点	内容
I 学 校 経 営	1. 志太広域事務組合における看護学校の意義・役割及び目標を教職員が理解している。	教育事業実施計画 運営組織図 学生便覧 学校運営会議録 年報	<ul style="list-style-type: none"> <li>志太広域事務組合における看護学校の意義・役割、教育理念を策定し、それを教職員が周知している。</li> <li>組織目標は文章化し学校以外にも公表している。</li> <li>中、長期的な検討をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度初めの式には可能な限り参加する。</li> <li>庶務課、教務課の組織目標を4月に立て、職員が周知する。</li> <li>副校長兼教務課長の兼務を解き、副校長として学校経営に力を注いでいけるよう志広組に働きかけることを継続する。</li> </ul>	3	<p>6月に志広組の職員体制に関するヒアリングで人事担当主幹、総務課長に他校の現状からも兼務を外す要望を伝えた。</p> <p>代表監査委員から副校長兼教務課長の兼務について管理者に報告があり、管理者から分掌の精選をしっかりと行い、校長を補佐する立場として業務を遂行するように指示をいただいた。兼務を解く話は今後も志広組と話していく。</p>	4	今後も、副校長として学校経営に力を注いでいけるよう志広組に働きかけることを継続することを期待する。

I 学校 経営	2. 教育事業重点目標に対する評価を実施し、その結果を教職員に周知するとともに、次年度の目標につなげている。	教育事業実施計画 運営組織図 年報 各会議録	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育事業重点目標を設定する際に、教職員の意見を取り入れている。</li> <li>・前年度の評価を活かした目標である。</li> <li>・目標を評価し、次年度の課題を明確にしている。</li> <li>・評価結果を教職員に周知している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会委員の意見、教職員の意見を取り上げ、組織運営自己点検自己評価をし、教育事業重点目標を立案する。</li> </ul>	5	<p>委員会委員の意見、教職員の意見も取り上げ、組織運営自己点検自己評価をし、教育事業重点目標を立案した。冊子となっている「教育事業実施計画」に載せた。</p> <p>自己点検自己評価は、7月に中間評価、3月に総括評価をした。3月の学校関係者評価委員会においてさらに意見を聴取し、令和3年度の目標につなげていく。</p>	
	3. 学校組織図（意思決定システム）を基にした、運営（協議会・委員会・会議等）がなされている。	教育事業実施計画 運営組織図 組織運営自己点検・自己評価表 各会議録	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの運営組織において、重要事項の検討および共通認識の場として機能している。</li> <li>・それぞれの運営組織において意思決定した内容の共有化を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校組織運営図に基づき、それぞれの会議を行い情報共有していく。</li> </ul>	5	<p>学校運営組織図に基づき、会議を行い運営している。会議の内容を教職員全員で情報共有している。</p> <p>運営委員以外の職員も学校運営への参画意識を持つことができている。</p>	5

I 学 校 経 営	4. 組織運営評価を実施し、評価結果を教職員に周知するとともに外部にも公表している。	教育事業実施計画 運営組織図 組織運営自己点検・自己評価表 ホームページ 各会議録	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営評価結果を教職員に周知している。</li> <li>・今後の課題を明確にし改善点を出している。</li> <li>・運営評価結果を、ホームページなどを通じて公表している。</li> <li>・中間評価を実施し、その結果を後期に活かしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度の自己点検・自己評価結果は3月中に第三者評価を含めて行い、4月中にホームページに公表する。</li> <li>・学校関係者評価委員会の意見を活かし、PDCAサイクルを循環させていく。</li> </ul>	5	<p>令和元年度の自己点検・自己評価結果はコロナ感染の対応で少し遅れてしまったが、5月にホームページで公表した。</p> <p>教職員全員で自己点検自己評価を行い、その意見を取り上げ、改善計画を立案している。</p>	5	改善計画の公表に期待する。
II 教 育 課 程 ・ 教 育 活 動	5. 教育理念を基に卒業時において持つべき看護師の資質を明示し、教育目的・目標に反映させている。かつ学生の学習の指針となるようわかりやすく示している。	学生便覧 教育課程検討会報告書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師として持つべき資質が、明文化されている。</li> <li>・教育目標がわかりやすく示され、学生に説明する機会を設けている。</li> <li>・教育目標の妥当性を教員間で確認する機会を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度学校運営や看護教育のニードと制約をあげ現状把握する過程を経て、ディプロマポリシーを策定している。その過程をたどり新カリキュラムの検討を行う。教育課程検討会のテーマは「新カリキュラムの骨子を整える」とする。</li> </ul>	5	<p>教育課程検討会では、すでに策定されているディプロマポリシーと現行の教育目標を照合し、新カリキュラムに対応したものとなるよう検討している。</p> <p>新カリキュラムの検討会で、教育理念、教育目的・目標を立案した。ディプロマポリシーについては、再検討し、修正されたものが出来上がった。ディプロマポリシーについては令和3年度から修正されたものを学生便覧に示していく。</p> <p>今後は教育理念、教育目的と目標、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーが一貫したものとなるよう見直し検討を進める。</p>		

II 教育課程 ・ 教育活動	6. 各教科目の教育内容は、教育理念、教育目的・目標との一貫性があり、社会のニーズに応える内容になっている。	学生便覧 講義要綱 教育課程検討 会報告書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念、教育目的・目標が一貫された内容であり、それが明文化されている。</li> <li>・教育内容は、社会のニーズに対応した内容を含んでいる。</li> <li>・教員間で教育課程を検討し、評価する場を設けている。</li> <li>・学校の独自性が盛り込まれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行カリキュラムの課題と新カリキュラムの要点を把握し、ガイドラインをもとに新カリキュラムの検討をしつつ、本年度改善できる部分は改善していく。</li> </ul>	4	<p>小項目5を参照</p> <p>社会のニーズに応えるものとなるよう、新カリキュラムに関する研修の受講や、小グループでの学習会・検討会を継続している。<b>地域の特性を知り、貢献していくことを教育目標、ディプロマポリシーに入れ込んだ。</b></p> <p><b>2年次2月に行われた「看護過程実習II」については、現行の課題を検討し改善した。</b></p> <p><b>令和3年度には他の科目に関しても改善していく部分は改善していく。</b></p>	
	7. 教育課程との整合性がある授業計画が作成され、学生が学習内容を理解できるようにしている。	講義要綱 実習要綱 授業案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義要綱、実習要綱の内容は教育課程との整合性がある。</li> <li>・講義要綱、実習要綱を作成しており、学生が学習内容を把握しやすいよう記載されている。</li> <li>・評価計画を講義要綱・実習要綱に示している。</li> <li>・前年度の評価をもとに、各看護学で講義要綱・実習要綱や授業案を検討している。</li> <li>・ガイダンス、オリエンテーションを適切に実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善されたシラバスを活用し、学生の習熟度に応じたガイダンスを丁寧に行う。</li> </ul>	4	<p>シラバスの形式を統一し、この科目でどのような力が身に付くのかという評価計画を含め、学生の道しるべとなるよう改善してきている。それをもとに授業計画を作成し、評価改善している。</p> <p><b>本年度はコロナ感染の影響で、臨地実習の変更が多くあったが、実習要項の追加・修正をその都度行った。また、ここ数年間の現状と評価を踏まえ、2年次の看護過程実習IIの実習要項を改訂した。パフォーマンス評価として、学習活動をわかりやすくし、評価基準の表現もわかりやすくした。令和4年度カリキュラム改正に向け、令和3年度も改訂していける部分はしていく。</b></p>	

II 教育課程 ・ 教育活動	8. 教育内容を保障するために専門性を考慮した講師(実習指導者を含む)・教員を選定している。	・資格・履歴書・研修報告・	・教育内容と講師・教員の整合性を確認している。 ・講師は看護基礎教育に必要な教育内容を理解している。	・学生による授業評価も参考に、専門性を考慮した講師・教員を選定を行っている。	4	学生による授業評価も参考に、専門性を考慮した講師の選定を行っている。令和4年度改正のカリキュラムに備え、講師選定の準備も必要である。  特に専門分野においては12名の認定看護師に依頼している。今後も各科目の教育内容を精選し、看護基礎教育で必要な教育内容を講師と共有し、講義を進めていく必要がある。	4	今後も科目の教育内容を精選し、看護基礎教育で到達すべき目標を講師と共有し、講義を進めることを期待する。
	9. 効果的な授業運営を図るため、適切に時間割を調整している。	時間割 時間割変更表 進度表	・年度当初に年間の時間割を提示している。 ・時間割作成時に担当教員と調整をしている。 ・時間割は学生の状況に合わせて作成している。 ・学習の順序性を考慮した時間割になっている。 ・授業変更時には迅速に学生に伝達している。	・時間割は授業の進捗や関連性を考慮し作成していく。時間割変更はできるだけ少なくする。 ・4月には前期の時間割を提示する。	4	本年度はコロナの関係で、休業になった期間の授業の調整が必要な事態となった。予測の立たない状況の中で、変更、調整の繰り返しであったが、時間割担当をはじめ、教員や外部講師の協力の下で、概ね8月までに調整でき補うことができました。  学生も緊急事態のなかで、状況に応じ臨機応変に切り替え、やるべきことに向かっていくことができていた。  臨地実習においても、コロナ感染で実習場が使えない時は急遽学内実習に切り替え計画し、各科目で協力し対応していくことができた。		

<p style="text-align: center;">II 教育課程 ・ 教育活動</p>	<p>10. 授業案を作成し、学生が理解できるように学習内容や指導方法を工夫し改善している。</p>	<p>講義要綱 授業案 学生による授業評価の結果 年報</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業案を作成している。</li> <li>・学生による授業評価を実施し、授業評価の結果を活用して工夫・改善につなげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業案を共有するためパソコン上のファイルに保存する。</li> <li>・他の科目・単元の内容を確認し、教員個々が共有する意識を持つ。</li> <li>・授業評価を活用し、授業改善を図る意識を持つ。</li> <li>・他の教員の授業に参加し意見を伝えあう。</li> <li>・授業研究についても検討していく。</li> </ul>	4	<p>評価—改善を繰り返し、学習内容や授業方法を工夫している。</p> <p style="color: red;">学内実習については教員間でアドバイスしあうことができている。小児看護学の公開授業を実施した。授業設計の方法としての「逆向き設計論」については、今後も学習を深め、実践につなげていきたい。</p> <p>コロナ感染の影響で臨地実習ができず、臨地実習に代わる学内での代替案を考案し実施した時には、教員間で助言しあい協力し合う体制が取れていた。その成果として今後重要となるシミュレーション学習につながるものとなった。</p>	5	<p>コロナ禍の中、実習内容の精選及び代替案による実習が行われていることを評価する。</p>
---	--	---	--	--	---	---	---	--

<p style="text-align: center;">II 教育課程 ・ 教育活動</p>	<p>11. 学生の学習支援のための体制を整えている。</p>	<p>学生指導検討 会会議録 学生指導記録 講義要綱</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援の対策を整えている。</li> <li>・科目のねらい、目標、学習内容、評価方法などを示し、説明している。</li> <li>・学習困難な学生に対して支援している。</li> <li>・単位認定できなかった学生に対し、教員は学生の自己分析結果に基づき、対応策を学生とともに考え指導している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家試験対策プロジェクトを中心に、1年次からの学習支援の計画を立てる。</li> <li>・入学前プログラムを活用し、入学前からの学習支援を継続的に行う。</li> <li>・単位取得できなかった学生に対して、個々の課題に沿った支援を行う。</li> </ul>	<p>3</p>	<p>国家試験対策として、1年次からの目標を立て実施している。</p> <p>入学前プログラムを継続し、複数の教員で学習過程の助言をしていった。入学前から学ぶことの楽しさ、難しさ、継続した学習の必要性を感じ、モチベーションにつなげるようにしていきたい。</p> <p>原級留置学生や単位が取得できなかった学生に関しては、個々の課題、状況を把握し、個別で支援していった。「こうありがたい」という自分像が見えてきた学生もいるが、まだわからない学生もいる。ある程度は一人の教員が関った方がいい場合もあるし、様々な教員で関った方がいい場合もあるため、教員間で情報を共有しながら方向性を決めている。</p> <p style="color: red;">原級留置学生については、学生がビジョン・ゴールを立てながら個々の状況に合わせ、支援していった。</p> <p style="color: red;">本年度は全体的にコロナ感染の臨時休業の影響で、授業が遅れた。学生にも時間的余裕が作れず、放課後学習や個別の指導がタイムリーに実施できない時があった。8月の国試対策も例年のようにできなかった。</p> <p style="color: red;">次年度は国家試験対策やプロジェクト学習、入学前プログラム等を包括し、どういった学習支援が必要かを検討し対策を立てたい。</p>

<p>II 教育課程 ・ 教育活動</p>	<p>12. 実習施設は、教育理念、教育目的・目標を理解し、学生の看護実践を支援するための体制を整えている。</p>	<p>学生便覧 実習要綱 教育課程検討 会報告書 実習指導者会議録</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習施設は教育理念、教育目的・目標を理解し実習指導に臨んでいる。</li> <li>・実習施設は各実習の学生のレディネス、実習目的・目標、内容を把握し指導にあたっている。</li> <li>・実習施設にはカンファレンスや学習を整理する場所が設けられている。</li> <li>・実習期間には実習指導者が専任で指導にあたっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習施設との報告・連絡・相談を密にし、実習指導体制の強化を図る。</li> <li>・新カリキュラムに向け、厚労省から出されている「看護師に求められる実践能力と卒業時の到達目標」の共有を図る。</li> </ul>	<p>4</p>	<p>本年度は4月の指導者会議は少人数の分科会での開催とした。全体会については資料のみの配布とした。各実習において細かい点は打ち合わせをした。</p> <p>「看護師に求められる実践能力と卒業時の到達目標」の変更があることを3病院の教育担当には伝えている。令和3年度には具体的な内容について共有していく。</p> <p>コロナ感染拡大に伴い、実習施設における感染対策、実習条件が設けられており、その都度情報共有し実習が可能となった。このような情勢下で、実習施設側の理解と協力あってのことであり、有難かった。</p>	
-----------------------------------	--	---	---	---	----------	---	--



II 教育課程 ・ 教育活動	13. 実習指導者と教員の役割を明確にし、互いに協働して実習指導にあたる体制が整えられている。	実習病院との申し合わせ事項用紙 実習指導要綱 実習指導案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習指導要綱を作成して活用している。</li> <li>・指導者会議を開催している。</li> <li>・実習指導者と教員の役割を明文化しているものがある。</li> <li>・実習指導者と教員の实習前の打ち合わせ、実習後の振り返りを行っている。</li> <li>・日々の指導の中で、学習内容や指導方法について教員と指導者で常に意見交換している。</li> <li>・より質の高い実習指導体制を整えるために、指導者と教員が参加する学習会などが企画されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員、指導者の役割と責任については実習指導者会議で毎年伝えていく。</li> <li>・教員と指導者が情報交換し、課題を共有し、個々の学生に適した方法で指導をしていく。</li> </ul>	4	<p>4月の実習指導者会議と8月の連絡会議、老年指導者会議は従来通り開催できなかったため、教員、指導者の役割と責任については十分伝えることができなかった。</p> <p>それぞれの実習では協働して役割分担している。</p> <p>令和4年度カリキュラム改正もあるため、育成すべき看護師像を共有し、さらに指導者と教員が連携して指導に当たることができるようにしていく。</p>	
	14. 実習単位認定のための評価基準と方法を明示しており、かつ評価について公平性・妥当性が保たれている。	実習要綱 実習評価ルーブリック表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価基準を書面で提示している。</li> <li>・評価方法および評価結果を学生に説明している。</li> <li>・実習の評価は複数で行っている。</li> <li>・学生はルーブリック表を活用し自己評価をしている。</li> <li>・実習評価の公平性・妥当性が保たれるよう評価規準・基準の見直しを毎年行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在使用しているルーブリックの内容の整理、教員間での共有、指導者との共有を図る。</li> <li>・現行ルーブリックの見直しを教員の小グループで行い、ルーブリックに対する認識の統一を図る。</li> </ul>	3	<p>実習のルーブリックの見直しは必要であり、<b>新カリ検討と並行して行っていく計画である。</b></p> <p>小項目7でも挙げたように、ここ数年間の現状と評価を踏まえ、2年次の看護過程実習IIの実習要項を改訂した。パフォーマンス評価として、学習活動をわかりやすくし、評価基準の表現もわかりやすくした。令和4年度カリキュラム改正に向け、令和3年度も改訂していける部分はしていく。</p>	4

<b>II 教育課程 ・ 教育活動</b>	15. 臨地実習において看護を必要とする人々の権利を尊重する考え方にに基づき、倫理的配慮を励行している。	実習要綱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護を必要とする人々に事前に説明し、同意を得ている。かつ施設ごとに指定された同意書を交わしている。</li> <li>・看護を必要とする人々への倫理的配慮に関するガイドラインを作成している。</li> <li>・看護を必要とする人々への倫理的配慮について指導を行い、学生は倫理に基づいた行動を心がけている。</li> <li>・倫理的事項に関連した苦情がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習目標に挙げている看護倫理に関する目標の到達度を評価していく。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護を必要としている人々への倫理的配慮については、各領域で共通した実習目標として挙げている。到達度を評価すると共に、臨地実習において何が必要なのかを見直し、倫理的態度の育成につなげていく必要がある。</li> </ul>	3	看護を必要としている人々への倫理的配慮及び倫理的態度の育成について、学校と臨床の場との共有を図り、日々の実習指導内容を明確に示したい。
	16. 医療過誤防止に基づき、学生の実習に対する安全方針を出し、安全教育を行っている。	学生便覧 実習要項 事故報告書 学生指検討当 会議事録 オリエンテーション指導案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インシデント発生時のマニュアルを作成している。</li> <li>・感染予防の対策を示し、実施している。</li> <li>・実習前後に安全教育を実施している。</li> <li>・インシデントなどの情報が速やかに報告され、教員間、学生間で共有している。</li> <li>・学生が関係したインシデントについて分析し再発予防に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故発生時の対応マニュアルを作成する。</li> <li>・実際のインシデントを学生に公開し共有する機会を作り、倫理的態度の育成につなげる。</li> <li>・感染予防対策として、感染症の検査とワクチン接種について徹底する。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>未完成である。計画的に進めていく。</li> <li>本年度はインシデントが少なかったが、共有する機会を積極的に作ってことはできなかった。次年度も進めていく。</li> <li>感染症の検査とワクチン接種については徹底して行っている。HBワクチンについては、病院の協力体制の下で全学年実施することができた。</li> <li>コロナ感染への対応策も病院の要望を基に学校全体で取り組んでいった。</li> </ul>		

<p style="text-align: center;">II 教育課程 ・ 教育活動</p>	<p>17. 教育課程を評価する体系を整えている。</p>	<p>授業評価マニュアル 授業評価結果保護者への返信用紙 学校関係者評価委員会 教育課程編成委員会 講師会議 実習指導者会議 年報</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の反応から講義や教授方法の適切性を確認し、改善につなげている。</li> <li>・学生による授業評価を実施し、その結果をフィードバックし授業改善につなげている。</li> <li>・第三者評価を実施し、その意見を教育課程に反映させている。</li> <li>・評価計画を立案・公表し実施している。</li> <li>・学生および教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程編成委員会での意見を取り入れ、教育課程に反映させ、さらに改善していく。</li> <li>・学生による授業評価を継続し、授業改善につなげている。</li> </ul>	4	<p style="color: red;">教育課程編成委員会を、7月、3月に開催し、意見をいただき改善に向けていくことができた。新カリキュラムの構築についてや、卒後の就職について等の意見をいただいた。</p> <p style="color: red;">学生による授業評価については、「授業評価とは何か」ということを把握しての記載になっていくよう、時々でしっかりと説明をしていく必要がある。効果的活用につなげていきたい。</p>	5	<p>今後も改善内容の整理と実践を並行して行うことを期待する。</p>
---	-------------------------------	---	--	---	---	---	---	-------------------------------------

<p style="text-align: center;">Ⅲ 入 学 ・ 卒 業 ・ 就 職 ・ 進 学</p>	<p>18. より多くの出願者を確保することに努めている。</p>	<p>募集要項 入試委員会議 事録</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念、教育目的・目標から一貫性をもって、入学してほしい学生像を公表している。</li> <li>・入学者状況や、入学者の推移から入学者選抜の妥当性を検証している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが平等に学びの機会を得られるための、高等教育の修学支援制度の対象校であること、教育訓練給付金の認定校であることをPRしていく。</li> <li>・今後卒業生の学校評価も参考に、本校の教育活動の評価を行い、強みをPRできるようにしていく。</li> </ul>	4	<p>学校説明会などでPRしている。</p> <p>支援制度については、教育訓練給付金を受けている者3名、修学支援制度を受けている者6名、学びの継続のための緊急支援給付金を受けた者2名である。</p> <p>オープンキャンパスは中止となったが、それに代わる形として学校説明会を8回計画した。定員25名で保護者を含め最大50名とした。各回とも満員で好評であった。コロナ感染で説明会やオープンキャンパスが中止となっている状況であるため、志願者自ら情報を取ろうとする姿勢を感じている。</p> <p>令和3年度の出願者は、推薦入試…33人（令和2年度50人）、一般入試…74人（令和2年度91人）であり、昨年度より減少している。例年と比べ大きな減少はないが、他校でも減少していることを聞く。現在ではコロナ感染の影響がどのように出ているかは分析しにくい。高校の志願者数や県内の看護学校全体の受験者数を見て分析していく必</p>	
--	-----------------------------------	-------------------------------	--	--	---	---	--

<p style="text-align: center;">Ⅲ 入 学 ・ 卒 業 ・ 就 職 ・ 進 学</p>	<p>19. 国家試験の合格率が100%となるよう、教職員が組織的に取り組んでいる。</p>	<p>国家試験対策プロジェクト会議録 各年次の国家試験対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家試験対策の計画が立てられている。</li> <li>・各学年の指導方針が明確である。</li> <li>・学生の国家試験対策への取り組み状況を分析し、指導に活かしている。</li> <li>・国家試験の合格率が全国平均を上回っている。</li> <li>・前年度不合格者に対して指導、情報提供をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次の段階からの学習支援体制を強化し、国家試験全員合格を目指す。</li> <li>・年度当初には各年次の指導方針を出す。</li> <li>・3年次担当を中心に臨地実習と並行した国家試験対策を立て支援する。</li> <li>・模試の成績が伸びない学生に対しては学生と課題を共有し個別で支援する。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">4</p> <p>国家試験対策プロジェクトを中心に1年次からの目標と計画を立て実施している。本年度は外部セミナーが中止となったり、夏休み期間に臨地実習になったりという状況もあり、3年次についてはなかなか国家試験モードにならなかった。12月で臨地実習が修了した後は、模試の成績下位者にチューターを付け、学習支援とメンタル面の支援をしていった。その後クラス全体として全国模試の成績はどんどん上がっていった。（最終模試成績47位/359校）。もう少し早くから持っている能力を活かし学習が進められるよう、支援の仕方を考えていく必要がある。</p> <p>小項目11でも評価したように、次年度は国家試験対策やプロジェクト学習、入学前プログラム等を包括し、どういう学習支援が必要かを検討し対策を立てたい。</p>	<p style="text-align: center;">5</p>

Ⅲ 入 学 ・ 卒 業 ・ 就 職 ・ 進 学	20. 卒業時の到達状況を分析している。	卒業時面接記録 面接記録 アンケート結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念、教育目的・目標に照らし、卒業時の到達状況を把握している。</li> <li>・多面的に卒業時の到達状況を分析し公表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度に明文化したディプロマポリシーを基に、卒業時の到達目標を分析していく。</li> <li>・卒業時面接を実施し、その結果から「この学校を選んだ満足度」などを評価していく。</li> <li>・令和元年度に行った看護実践力の育ち度評価について分析した結果を、学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会、実習指導者会議などで伝えていく。</li> </ul>	4	<p style="color: red;">本年度ディプロマポリシーについて再検討した。今後それを基に到達度評価していけるようにしていく。</p> <p style="color: red;">令和元年度卒業生の到達度調査と面接については分析し、第2回評価委員会で報告をした。また、令和元年度に卒業1年目の卒業生に育ち度のインタビューをした結果についても分析し報告した。それについては、令和元年度教育課程検討会報告書に掲載した。</p>	
	21. 卒業生の活動状況を把握し、分析している。	同窓会 調査用紙と分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職先への調査を行い把握する体制を整えている。</li> <li>・卒業生との情報交換や調査により、活動状況を把握する。</li> <li>・同窓会を活用し継続的に卒業生の活動状況を調査している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副校長が3病院の看護部長と面談を行い、卒業生の活動状況を伺う。</li> <li>・学校関係者評価委員会において、病院関係者や同窓会から状況を伺う。</li> <li>・卒業生の活動状況の調査については同窓会とも協力していく。</li> </ul>	3	<p>卒業生の活動状況については、第1回評価委員会で、同窓会で調査をしていきたいので学校に情報提供したいと考えていることを伺った。協力をお願いしたい。</p> <p style="color: red;">3病院の看護部長との面談を通し、卒業生の状況は伺っている。</p>	4

<p style="text-align: center;">Ⅲ 入 学 ・ 卒 業 ・ 就 職 ・ 進 学</p>	<p>22. 卒業生の地域への就職率を高めるよう努めている。</p>	<p>就職先一覧表 関連地域病院への就職率</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連地域の病院への就職に向けての説明会を行っている。</li> <li>・進路指導において、関連地域の病院の募集情報を収集し提供している。</li> <li>・年度の卒業生の関連地域への就職率85%程度である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年次ごとの3病院説明会を開催する。</li> <li>・3病院の就学資金制度、職員採用の募集状況を把握し、必要時学生に伝える。</li> <li>・病院開催の説明会にも参加させていただき、看護という職業や看護学校の魅力を伝えていく。</li> </ul>	5	<p>コロナの影響で2年次3年次の病院説明会を開催することができなかった。学生はホームページで自ら情報を得ていった。受け身ではなく、自分で情報を取る機会となった。</p> <p style="color: red;">令和3年度3年次の就職先は、焼津市立総合病院21名、藤枝市立総合病院9名、榛原総合病院2名、その他県内2名である。関連病院の就職率は88.5%であり、高い就職率を保っている。今後も高い就職率を維持していくために、病院の特徴や魅力を知ることができるように、年次毎の病院説明会を開催していく。</p>	5	<p>関連病院への就職率は高い傾向であり、今後も維持していくために、年次毎の病院説明会を開催することを期待する。</p>
<p style="text-align: center;">Ⅳ 学 生 生 活 へ の 支 援</p>	<p>23. 就職、進学などの進路について学生の相談に応じている。</p>	<p>時間割 面接記録</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職説明会を実施し活用している。</li> <li>・就職、進学に関する相談にその都度応じ選択の支援を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3病院就職説明会を開催し、個別相談の時間を設ける。</li> <li>・学生の希望により、必要時相談に応じていく。</li> </ul>	4	<p>必要時相談に応じている。</p>		

IV 学 生 生 活 へ の 支 援	24. 学業継続支援体制 (経済的、精神的側面)を整えている。	募集要項 病院パンフレット カウンセリング実施表 面接事前アンケート 面接記録	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奨学金など経済的支援の情報提供をすると共に、相談に応じる。</li> <li>・カウンセリングの目的、カウンセラーの役割を学生に周知している。</li> <li>・カウンセリングが必要と思われる学生に、必要時教員から勧めている。</li> <li>・カウンセリングを受けていることのプライバシーが守られている。</li> <li>・定期的に学生との面接を行っている。</li> <li>・必要時には学生やその保護者との面接を行い情報共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の状況については、入学前プログラムから継続的に見ていく。</li> <li>・必要時カウンセリングを促し、効果的に活用していけるようにする。</li> <li>・経済的支援が必要な学生については、修学支援制度について庶務課が担当し説明していく。</li> </ul>	<p>4</p> <p>入学前プログラムへの取り組みは、学習の強化だけでなく、学習を継続していく力の基盤となっている。</p> <p>カウンセリングを継続して活用する学生もいる。<b>今後学生が活用しやすい時間帯を講師と調整し考えていく。</b></p> <p><b>修学の支援については庶務課を中心に個別で相談に応じている。利用状況については、小項目18に記載した。</b></p> <p><b>本年度1年次生の再試験者が多いことから、学業の状況を保護者にも知ってもらうため、再試験願いに保護者の印とコメントをいただくようにした。</b></p>	<p>4</p> <p>今後も継続することを期待する。</p>
	25. 学生の身体的側面の健康確保に努めている。	健康手帳 検査結果一覧 予防接種推奨の保護者へのお知らせ文 救急薬品一覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断を実施し、校医によるスクリーニングがされている。</li> <li>・健康診断後の指導、相談がされている。</li> <li>・禁煙教育を行い、敷地内は完全禁煙となっている。</li> <li>・インフルエンザなどの感染予防対策について周知啓発をしている。</li> <li>・救急薬品が補充され、保健室が整備されている。</li> <li>・必要時、慢性疾患等のある学生の情報を得て相談にのっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断終了後のスクリーニングの結果、再検査や指導が必要な学生には、受診行動や生活習慣の改善、検査値の把握など、継続的にフォローしていく。</li> <li>・健康手帳は学生が管理し、健康支援の担い手である看護師になる人として、責任を持ち自己の健康状態を管理していく。</li> </ul>	<p>4</p> <p>健康診断終了後のスクリーニングの結果、再検査や指導が必要な学生には、受診行動や生活習慣の改善、検査値の把握など、継続的にフォローしている。</p> <p>健康手帳は学生が管理し、健康支援の担い手である看護師になる人として、責任を持ち自己の健康状態を管理している。</p> <p>新型コロナウイルス感染症予防対策については、徹底して行っている。</p> <p>インフルエンザについては、早めの予防接種を勧めた。</p> <p><b>慢性疾患等のある学生については、自己管理を促し、学内授業や臨地実習での配慮をしていく。</b></p>	<p>4</p> <p>今後も継続することを期待する。</p>



IV 学 生 生 活 へ の 支 援	26. サークル活動など 学生の自主的な活動を 支援している。	後援会予算表 サークルメン バー登録表 サークル活動 会計報告 自治体立球技 大会報告	・学生のサークル活動など自 主的な活動の支援体制が整っ ている。 ・サークル活動など自主的な 活動を行うための場所や物品 が整備されている。 ・サークル活動の発表や他校 との交流の場を設けることを 支援している。	・本校の学生同士、又他校の 学生とも交流する機会とし て、活発に活動できるよう、 後援会からの助成も受ける。	4  コロナの影響で活動を自粛しているが、感染防 止対策を取り活動しているサークルもあった。活 動が重ならないよう、サークル同士で工夫して 行った。 学生と教職員のみで開催した学校祭では、軽音 楽やダンスが練習の成果を披露した。 令和2年度で自治体立看護学校球技大会が閉会 となったので、他校との交流の機会が無くなっ た。今後は学生の自治活動のなかで他校との交流 も考えていけるといい。	
V 管 理 運 営 ・ 財 政	27. 財政基盤を確保す ることの考え方が明確 であり、教育の質の維 持・向上につながって いる。	志太広域事務 組合例規集 主要事業計画 予算計画書	・教職員はどのような財政基 盤によって成り立っているの か理解している。 ・教職員が管理運営に関する 意識を持ち、意見が反映でき るシステムが整っている。	・職員会議などで当初予算の ヒアリングの経過を説明し、 当初予算書の周知を促進す る。	4  職員会議・教員会議で当初予算のヒアリングの 経過を説明し、当初予算書の周知を促している。 教職員は管理運営に係る一員としての意識を持ち 意見を述べるようになってきている。	4  今後も、教員の意識に期待す る。
	28. 年次事業計画、予 算計画を策定し、適正 な予算の執行・進行管 理を行っている。	主要事業計画 予算計画書 定期監査報告 書	・年間計画に基づき、計画的 に予算・事業執行を行って いる。 ・計画的に設備備品の充足を している。 ・組織的に経費の節減対策を 行っている。	・令和4年度改正予定のカリ キュラムに向け、主要事業計 画書を志広組に提出し、計画 的に備品設備の整備を図る。 ・省エネを学生にも意識して もらい経費の削減に努める。	4  改正カリキュラムに向け、必要設備、備品を募 り事業計画を立て、必要な予算確保ができた。 本年度はコロナ感染のための対応として、図書 費などが使われてしまい、学生図書の購入ができ なかった。緊急対応とはいえ予算が削られたこと は厳しかった。	

V 管 理 運 営 ・ 財 政	29. 学生や教職員の人権・個人情報保護について十分な対策がなされている。	学生便覧 実習要綱 志太広域事務組合特定個人情報取り扱い規定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護規定が策定されている。</li> <li>・個人情報保護規定が学生教職員に周知されている。</li> <li>・個人情報保護規定の通り管理されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護に関する職員のガイドラインや、ハラスメント、文書保存のガイドラインなどを検討していく。</li> </ul>	2	3	<p>個人情報保護に関する職員のガイドラインや、ハラスメント、文書保存のガイドラインについては未着手である。今後は目標を決め計画的に取り組んでいく。</p> <p>早急な対応が必要である。</p>
VI 施 設 整 備	30. 災害や非常時の危機管理体制が整備されている。また、防犯、交通安全意識の向上に努めている。	学生便覧 防災訓練計画・実施・評価 学生・職員緊急連絡網 時間割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理マニュアルを作成し、随時見直しをしている。</li> <li>・防災計画が立てられている。</li> <li>・学生、職員の緊急連絡手段がとられている。</li> <li>・防災訓練を定期的に行っている。</li> <li>・災害時に必要な食糧の備蓄や備品を備えている。</li> <li>・防犯、交通安全講習会などを開催し、学生に受講させている。</li> <li>・不審者の侵入に対し監視体制が整備されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年を対象に交通安全教室を実施する。（本年度は1年次のみ）</li> <li>・緊急連絡網の伝達訓練、安否確認訓練（伝言ダイヤル「171」、まちcomiメール）を行い、災害時に確実に使用できる体制を作る。</li> <li>・無料通話アプリLINEを活用し、迅速かつ確実な伝達ができるよう試みる。</li> </ul>	3	3	<p>本年度は1年次と事故歴のある学生のみ交通安全教室を開催した。</p> <p>コロナウイルス感染症の緊急事態を機に、遠隔授業が出来るシステム（Zoom）が7月に整った。学生の自宅で遠隔授業に対応できる環境が整っているか調査し、冬休みに通信状況を試した。授業や会議でのオンラインも順調に進めることが出来るようになった。</p> <p>臨時休業中はLINEを活用し、対話を行うこともできた。緊急時の連絡はまちcomiメールで迅速かつ確実に伝達できている。災害時などはLINEの活用が有効であると考えているが、個人情報の扱い方についてなど課題もある。</p> <p>防犯については17:30に学生の通用門と学校の自動ドアを施錠している。19:00までの校舎の使用を届け出により許可をしている。</p> <p>コロナ感染の第3波到来の1月は、玄関の自動ドアを施錠し、2か所の出入り口で密にならないようにし、感染対策を厳重にした。</p> <p>予算の面で緊急時の対応が遅れることは課題である。</p> <p>早急に、緊急時の対応策を具現化することを望みたい。</p>

VI 施設 整備	31. 教育目標達成に必要な且つ安全な施設設備及び教材が整えられている。	施設設備計画書 予算計画書 主要事業計画書 指導調査報告書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定規則に定められている設備、教材が整えられている。</li> <li>・設備、教材の点検を定期的に行っている。</li> <li>・適切な教材が整えられ、活用されている。</li> <li>・障がい者利用に配慮された構造である。</li> <li>・学生が自主的に学習できるよう整備されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラム改正を見据え、施設設備や教材の整備を計画する。</li> <li>・特にICT教育に必要な設備、備品については他校の情報も得ながら計画していく。</li> </ul>	3	<p>カリキュラム改正を見据え、施設設備や教材の整備を計画した。主要事業計画のヒアリングを終え、必要な予算確保ができた。</p> <p>ICT、電子テキスト、Zoom授業の実施に向けて研修を実施した。今後も教員のICTリテラシーを高めていくことは課題である。</p>	3
	32. 医療の発展や学生層の変化に合わせて、看護教育に必要な施設設備の改善に計画的に取り組んでいる。	施設設備計画書 予算計画書 主要事業計画書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的事業計画が立案されている。</li> <li>・教材備品については、最新の情報をえて、十分検討の上、購入希望の優先順位を決めている。</li> </ul>	VI31の計画同様	3	<p>カリキュラム改正を見据え、施設設備や教材の整備を計画した。主要事業計画のヒアリングを終え、必要な予算確保ができた。</p> <p>ICT、電子テキスト、Zoom授業の実施に向けて研修を実施した。今後も教員のICTリテラシーを高めていくことは課題である。</p>	

VI 施設 整備	33. 学生が円滑に学習でき、学校生活が送れるよう環境が整えられている。	物品表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生が自由に活用できるスペースやホールがある。</li> <li>・学生が自主的に学習できるよう整備されている。</li> <li>・学生用施設は時間外での使用ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラム改正を見据え学習環境を整える。</li> <li>・卒業時の面接やアンケート結果からの意見も取り入れ、また在校生のアイデアも取り入れ協働して環境を整えていく。</li> </ul>	3	<p style="color: red;">カリキュラム改正で必要な演習室を増やす計画を立てた。学校の一部の改築を予定したが、改築は法律上難しいため、パーティションなどで仕切り、小グループで使用できるスペースを作る計画を立てた。使用する椅子や机もカンファレンスやグループワークがしやすいものを予算の中で選んだ。</p> <p style="color: red;">学生からの声を反映させるところまではいっていない。まずは、予算の中で最大限円滑に学校生活が遅れるよう考えたい。</p>	3	学生が望む学習環境とは、何か・・・？学生と共有する場を早急に設けると良いのでは・・・？
	34. 教職員が職務を円滑に遂行できるように、施設設備を整備している。	施設設備計画書 予算計画書 主要事業計画書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークスペースが確保されている。</li> <li>・教育に必要な図書が確保されている。</li> <li>・更衣や休息できるスペースが確保されている。</li> <li>・教員の研究に必要な検索システムが整えられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備上、ワークスペースの確保は難しいが、計画的な時間外勤務、学生指導の方法、有給休暇の効果的な取得など個々で管理し、働き方を改革していく。</li> </ul>	3	<p>計画的な時間外勤務、学生指導の方法、有給休暇の効果的な取得など個々で管理していけるようになってきている。</p> <p>ワークスペースは個人のデスクと研究室である。会議などは研究室や講師室、応接室など空き状況を見て使用している。</p> <p>今後も在宅ワークが要請される場合を考え、リモートで仕事ができるように、教員が使用する部屋のwifi環境が整うように要求していきたい。</p> <p style="color: red;">本年度はコロナ感染の影響のため、緊急会議やカリキュラムの変更に関する対応で時間外勤務が増えている。</p>		

VII 教 職 員 の 育 成	35. キャリア段階別教育計画が立てられているとともに、教員個々が目標を立てている。	教育計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア段階別教育計画が立案されている。</li> <li>・教員個人で目標を立て、個々の教育活動を評価している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員育成計画（教員の段階別目標）に基づき個々の教育活動を評価する。</li> <li>・教員個々がキャリアポートフォリオを活用し、1年間の成長を確認する。</li> <li>・教員の育成や派遣については、3病院の看護部長と話し、中長期的な計画の下で進める。</li> <li>・看護教員の魅力発信のため、教員新聞の発行を継続する。</li> </ul>	4	<p>教員育成計画（教員の段階別目標）に基づき個々の教育活動を評価している。4月に立てた個々の「課題と目標」に対して、9月、12月に中間評価を行い振り返りをした。</p> <p>教員個々がキャリアポートフォリオを活用し、1年間の成長を確認している。それを基に副校長と2回/年、面接をしている。</p> <p>教員の育成や派遣については、3病院の看護部長と話し、中長期的な計画の下で進めている。</p> <p>教員の魅力発信のための教員新聞はコロナ感染の影響で止まっている。</p>	4	具体的な育成計画に則り、継続的に行うことを望む。

VII 教職員の育成

<p>36. 看護教育に必要な研修に参加できる体制が整えられ、他の教職員に還元する仕組みがある。</p>	<p>予算計画書 研修報告書</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学会や研修などに参加できるように計画されている。</li> <li>・学会や研修に参加した成果を報告し、他の教員に伝達講習できるような時間や方法をとっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の人事や、教員の担当・役割を想定し、研修計画を立案する。</li> <li>・カリキュラム改正に備え、必要な研修を計画する。(ICTに関する研修など)</li> <li>・研修後の伝達講習は教員会議等を活用し行う。</li> </ul>	4	<p>本年度の公費での研修は、ほとんどが中止かオンラインでの開催に変更となっている。オンラインは時間は取られるが、何日かの期間で視聴できるため、勤務時間内、自宅で参加できている。参加しての学びは教員会議などで伝達していく。</p> <p>カリキュラム改正に備えたさまざまな研修がオンラインで開催されているため、可能な限り参加している。</p>	4	
<p>37. 専門性を高めるために必要な研修を受けられる体制が整えられている。</p>	<p>研修計画・報告書 予算計画書</p>	<p>・年間計画の中に研修を組み入れ、円滑に授業や実習指導が進められるよう計画している。</p>	<p>・計画した研修は、年間計画の中に組み入れ、授業や実習を調整しながら受けられるようにしていく。</p>	4	<p>計画した研修は、年間計画の中に組み入れ、授業や実習を調整しながら受けられるようにしている。</p> <p style="color: red;">本年度は看護協会主催訪問看護師養成講習会に参加し、在宅看護領域における授業・実習の知識を深めることができた。</p>		

VII 教 職 員 の 育 成	38. 教員が計画的に授業研修や研究活動を行えるような体制が整えられている。 研究に価値をおき、研究活動を教員相互で支援しあう文化的素地がある。	研修計画・報告書 予算計画書 研究計画書、報告書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の教員の授業に参加し、授業研修する体制が整えられている。</li> <li>・年間計画として教員の授業研修、研究活動を取り入れている。</li> <li>・学会等において実践報告および研究報告を行っている。</li> <li>・教員の研究活動を教員相互で支援しあう体制がある。</li> <li>・文献検索システムが整えられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の教員の授業に参画し、相互に研鑽する機会を作る。</li> <li>・本年度は令和4年度改正予定のカリキュラムの骨子を整えることを目標に、教育課程検討会を行う。</li> </ul>	4 他の教員の授業に参画し、相互に研鑽する機会を作りたいが、前期はコロナ感染に振り回されていることや、新カリキュラムの検討が優先され実施できなかった。 <b>後期は新カリキュラムの検討と共に個々でできることは進めた。小児看護学において、逆向き設計論を基にした授業案を作成し公開授業を行った。教員のほとんどが参加し意見交換をすることができた。</b> 本年度は令和4年度改正予定のカリキュラムの骨子を整えることを目標に、教育課程検討会を行っている。	4 今後も継続することを期待する。
VIII 広 報 ・ 地 域 活 動	39. 学校の広報活動を積極的に行っている。	ホームページ 学校説明会報告書 関連市町の広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページは受験生の求める情報を掲載し、定期的に更新している。</li> <li>・ホームページは卒業生の求める情報を掲載している。</li> <li>・学校説明会などには積極的に参加している。</li> <li>・広報誌などに学生募集や行事の様子など載せている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校案内を本年度用に作成する。</li> <li>・関連市町の広報に学生募集や行事のPRをする。</li> <li>・昨年度作成したキャラクターをベースに、新しいポーズを追加し、さまざまなPRに活用する。</li> </ul>	5 昨年度作成した学校キャラクターを、さまざまなPRで登場させている。 <b>キャラクターの男子、女の子の名前は、桂花祭で学生・職員から募集し、男の子は「護（まもる）くん」、女の子は「看奈（かな）ちゃん」に決定し、活躍している。</b> 市町の広報誌で行事や入試について掲載し、広報している。	

VIII 広報・地域活動	40. 看護教育活動を通し地域社会への貢献を組織的に行っている。	学校説明会報告書 学校祭総括年報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座や学校見学などの依頼には積極的に応じている。</li> <li>・学校祭には多くの地域住民が訪れている。</li> <li>・学校設備の地域への開放をしている。</li> <li>・学生には地域のボランティア活動への参加を促している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域から要請された講座（焼津市：ふくしのすすめ、藤枝市：出前講座）には、出向く。</li> <li>・牧之原市へのPRとして、学校説明会などを提案している。</li> <li>・学生の自治活動であるコミュニティ活動として、地域への様々な催しへの参加を促していく。</li> </ul> <p>※本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため自粛する可能性が高い。</p>	4	<p>本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため自粛している。その中でも、藤枝市立大洲小学校において、藤枝市出前講座「日常生活のなかの応急処置」を1回実施した。</p>	4	学生個々の生活圏について、看護の立場から健康的な街なのか、考察できると良いのでは？
	41. 学校から地域社会へ情報を発信する手段をもっている。	関連市町の広報 ホームページ 学校説明会報告書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町の広報を利用している。</li> <li>・学校のホームページを開設している。</li> <li>・地域住民に開放した学校祭を開催している。</li> <li>・要請に応じ学校説明や職業説明を行っている。</li> <li>・看護系志望の者に対し学校説明会を開催している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町の広報を活用し、行事などのお知らせをする。</li> <li>・ホームページはタイムリーに更新する。</li> <li>・可能な限り高校訪問や進路説明会に出向く。</li> <li>・学校イメージキャラクターをPRのために活用する。</li> </ul>	5	<p>小項目39と同じ</p> <p>昨年度作成したキャラクターを、さまざまなPRで登場させている。キャラクターの男の子、女の子の名前は、桂花祭で学生・職員から募集し、男の子は「護（まもる）くん」、女の子は「看奈（かんな）ちゃん」に決定し、活躍している。</p> <p>市町の広報誌で行事や入試について掲載し、広報している。</p> <p>高校訪問は少し縮小したが、6月に志太榛原地区を中心に17校訪問した。進路説明会は近隣以外は自粛している。静岡商業高校より「看護師という職業について」厳しさも含め伝えてほしいと依頼があったので8月に伺った。</p>	5	今後も、広報活動を充実し、求める人材の発掘を期待したい。

学校内評価：自己点検自己評価担当

伊藤みどり 亀澤ますみ 竹田直子

吉田五百枝

令和3年3月



